



第
99
号

発行日: 2025年10月1日

発行: 特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
(大津市地球温暖化防止活動推進センター)

住所: 〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階

電話: 077(526)7545

フォーラムHP: <https://eco-otsu.net>

Eメール(事務所): forum@eco-otsu.net



<事務局長から> 錦秋の候 酷暑の日が続いた夏でしたが、彼岸を過ぎてようやく朝夕に秋の気配を感じられるようになりました。前期事業は無事終わることができ、大津市地球温暖化防止活動推進センター4期目中間年に向けて、次年度事業計画策定協議を深める頃となりました。多くの皆さんに参画いただける事業の策定に鋭意努めますのでご支援ご協力お願いいたします。予報によればまだしばらく暑い日が続きます。夏バテがでぬようご自愛くださいますように。

会員数105名 (2025年9月末現在)

トピックス

○ おおつエコフェスタ2025を開催しました

7月27日、ピアザ淡海の大会議室とホワイエにて「おおつエコフェスタ2025」を開催し、35℃を記録する猛暑の中、約1,300人が来場され、夏休みの一日、親子で環境問題やエコについて楽しく学ばれました。

会場では21団体がヨシ工作や再エネ発電体験、ごみ分別クイズなどの体験ブース、エコグルメブース



「ぼんびんず」によるパフォーマンス



会場隣の休憩室で啓発ビデオを放映



ビートプロジェクトの押し花のしおりづくり



エネルギープロジェクトの家庭の省エネ簡易診断



大津市センターのエコチャレ体験

を出展されました。当フォーラムからは「押し花のしおりづくり」「家庭の省エネ簡易診断」「エコチャレ体験(大津市環境政策課と協同)」のブースを出展しました。またホワイエでプラごみ問題・食糧危機の、休憩室で地球温暖化の各啓発ビデオを放映しました。ステージでは、5団体に歌と紙芝居、チアダンス、ヒップホップダンスやバルーンアートのパフォーマンスを次々と披露していただきました。来場した子どもたちにはビンゴシートを渡し、シールラリーに挑戦していただきました。ビンゴ成立で景品がもらえるとあって長時間にわたって多くのブースを訪れていました。また、テレビ局や新聞社の取材が入り、それぞれ報道されました。

○ 自然家族事業 川の日②「大石川たんけん」を開催しました

7月5日、大石緑地スポーツ村内の大石川で自然家族事業川の日②「大石川たんけん」を開催し、抽選で選ばれた14家族44人(うち子ども24人)が参加されました。



朝から30℃近い暑さの中でしたが、薄雲越しの日差しは柔らかく、水位が低く水温は24℃と「川たんけん」にうってつけ。はじめに、橋の下の日陰で生きものの探し方を聞いた後川の中に入り、石の下にひそむ水生昆虫を探しました。一通り探し終えたところで橋下の河岸に集合し、みんなで捕まえた水生昆虫を集計します。ヒラタカゲロウやヘビトンボ、カワゲラ、ヤマトビケラ、ガガンボなど「きれいな水」の指標生物が数多く見つかりました。他に「ややきれいな水」の生きものもありました。「きたない水」のヒルも見つかりましたが、隣の田んぼから流れてきたのかもしれませんが。大石川の水質は「きれいな水」～「ややきれいな水」だと言えます。次に、大き目の網に持ち替えて再度川に入り、今度は主に魚を探します。網を川底に固定し、上流から追い込むようにするとよいのだとか。ヨシノボリ、カワムツ、ウキゴリ、オイカワ、メダカ、エビ類を捕まえることができました。今回、スゴモロコが初めて見つかりました。琵琶湖の固有種で水深10m前後の底に棲む魚だそうです。そして残念ながらたくさんのゴミ。観察後、今後もきれいな大石川であるためには、どうしていったらよいか、みんなで考えました。最後に外来種以外の生きものはすべて川に返し、みんなで集合写真におさまりました。

○「地球温暖化防止すごろく大会」を実施しました

6月29日、アル・プラザ堅田店にて(株)平和堂、大津市企業局との協働企画として県びわ湖の日にあわせた出前講座「地球温暖化防止すごろく大会」を実施し、28家族80人が参加されました。大きなサイコロを振って駒を進め、止まった升目が温暖化防止によいか悪いかにより得点が増減します。最後の升目で環境に良いことを2つ言えたらゴールなので、小さな子どもたちも懸命に考えて答えてくれました。



○ 自然家族事業 びわ湖の日①「湖の学校～びわ湖の生きものの観察」を開催しました

8月2日、柳が崎のびわ湖大津館で県琵琶湖環境科学研究センターの先生方の指導のもと、自然家族事業びわ湖の日①「湖の学校～びわ湖の生きものの観察」を開催しました。抽選で13家族35人が選ばれましたが5家族が欠席され、参加はプランクトン班が3家族9人、底生生物班5家族12人の計8家族21人(うち子ども10人)でした。

挨拶、先生方の紹介の後、班別に湖岸に向かい、それぞれ先生方が実演を兼ねて研究時と同じ方法で試料を採取されました。次いで部屋に戻って講話と観察です。プランクトン班では、本格的な顕微鏡を使って観察し、図鑑と見比べて種類を調べ、見つけたものの名前をホワイトボードに書きだしていきます。琵琶湖には多くの種類のプランクトンがいることが分かりました。また、プランクトンは魚や貝類など他の生きものを支えていることも学びました。底生生物班では、先生が採取された、湖底が泥地と砂地の底生生物のうち、まずミミズだけを、スマホの明かりも使って一定時間に何匹見つけられるか数えます。泥地にはあまりおらず、砂地には多くいることが分かりました。次に砂地試料から他の生きものを探します。タニシや小さなシジミなどが数多く見つかりました。最後に両班一緒に集まり、先生方がまとめをしてくださいました。



プランクトン班



底生生物班



プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《ビオトープづくりプロジェクト》

9月6日、春日山公園のビオトープで、9月20日開催の自然家族事業里山の日①「ビオトープで生きもののかみ」の準備をしました。猛烈な勢いで繁茂した草刈りがメイン作業です。残暑厳しい中、プロジェクトのメンバー5人と2人の小学生で頑張りました。草刈り機3台、熊手、一輪車のフル稼働で約2時間の闘いでした。「めっちゃ暑かった!」「でもスッキリした!」が感想です。



■これからのフォーラム活動

プロジェクト等の名称	日 時	場 所・内 容 []内は予備日
プロジェクト		
ビオトープづくり	11月 8日(土) 9:00	春日山公園//どんぐり採取や草刈りなど「里山の日2」の準備
里山保全	10月 4日(土) 9:00	春日山公園//例会
	10月 20日(月) 9:00	春日山公園//例会
	11月 1日(土) 9:00	春日山公園//例会
エネルギー	10月 7日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	10月 19日(日) 10:00	明日都浜大津//「おおつ健康フェスティバル」出展
	10月 29日(水) 10:00	大津市センター//エコ料理チーム打ち合わせ
	11月 4日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム		
理事会	10月 17日(金) 10:00	市民活動センター//理事懇談会
おおつ市民環境塾実行チーム	10月 7日(火) 13:30	大津市センター//打ち合わせ
	11月 1日(土) 10:00	春日山公園//講座7「里山は自然と文化の野外博物館」[11/3]
自然家族事業実行チーム	10月 4日(土) 9:30	雄琴 オーパル//びわ湖の日2

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）